

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	J R 武蔵野線輸送力増強要請事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課					
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実	主管課長					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	J R 武蔵野線の利用者	意図	輸送力の増強及び利便性の向上を図ることにより鉄道の混雑緩和を促進する。
事業内容	千葉県並びに松戸市、野田市、柏市及び我孫子市と連携を図り、J R 武蔵野線の輸送力増強に関する要望活動を J R 東日本に対し実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年3月のダイヤ改正では、混雑緩和のため朝の通勤時間帯に計3本増発された。平成28年3月のダイヤ改正では、平日17時台に京葉線から武蔵野線へ直通する列車が1本増発された。平成29年3月のダイヤ改正では、平日18時台に京葉線から武蔵野線への列車が1本増発された。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	便利だと感じている駅利用者の割合	66	65.90	68.90	%	↑↑↑
②	ラッシュ時における混雑率	175	174	170	%	↓↓↓	県ホームページ公表	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		68,650	67,120	65,920	J R 東日本に対しダイヤ改正に係る要望書を提出。 路線別重点要望 ・混雑緩和のための列車の増発・増結を要望 ・終電時刻の繰り下げを要望			
事業費(b)(円)					ダイヤ改正関係 ・増発・増結（特に混雑時間帯、通勤・通学時間帯等） ・東京方面からの終電時刻の繰り下げ（接続する他路線との乗り継ぎ等利便性の向上）			
うち一般財源								
職員給与費(c)(円)		68,650	67,120	65,920				
人役・職員(人)		0.01	0.01	0.01				
人役・再任用(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	J R 武蔵野線の利用者の利便性、快適性の向上を図るため輸送改善を促進する。	③取組における課題(Check)	J R 東日本は、利用人員や快速列車の速達性、費用対効果の面からも、終電時刻の繰り下げや、大規模な改修を伴う要望について慎重な姿勢である。
②H30に実施した取組(Do)	J R 東日本に対する要望活動の実施。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	引き続き J R 東日本に対し要望活動を行っていく。